

「大学（予測課題2）」の採点一覧表

氏2024.9.1

注意1: 採点一覧表は、研究会独自による判断で作成したものであり、試験元の公益財団法人建築技術教育普及センターとは関係ない。

表1 採点結果

※表2に該当する場合は一発不合格(ランクIVと想定)となる。一発不合格でも-5点で点数化する。表3と表4は、減点法に基づき、合計点で判断する(ランクI~IVの判定)。

採点結果の区分			評価の結果		コメント
ランクI	知識及び技能を有する	合計点: 80点以上	①+②の合計点	ランク評価	<p>図面も記述も良くできている優れた内容ですが、地下1階で延焼ラインの防火設備の書き忘れがあり一発不合格となりました。</p> <p>面積表の間違が多いです。「-」と書くところを「×」、屋上緑化のマイナスを加えており、そこは計算結果も間違えています。</p> <p>耐震壁は、X方向とY方向でバランスよく配置して計画して下さい。コンセプトルームは、平面図の室内にも「設い」を書いて下さい。</p> <p>計画の要点等では、パッシブ技術は機械的な手法ではないこととなります、太陽光発電や集熱パネルはアクティブ技術となります。</p> <p style="color: red;">延焼ラインの書き忘れがないと確実にランクIとなる図面です(B1ですが延焼ラインありで防なしは一発不合格としました)。本試験は注意して合格して下さい。</p>
ランクII	知識及び技能が不足	合計点: 60~79点	86 点/100点	IV(I)	
ランクIII	知識及び技能が著しく不足	合計点: 60点未満	①図面得点	②計画要点得点	
ランクIV	重大な不適合に該当	不適合該当有	58 点/70点	28 点/30点	

表2 重大な不適合(一発不合格)

※下記に該当した場合は失格となる。

※添削では下記(一発不合格)に該当した場合でも表3の図面評価をし、採点をする(この評価採点では一発不合格内容を-5点とする)。

一発不合格の評価判断	下に該当するもの	(5) 要求室等の欠落(一つでもあれば一発不合格) ⇒要求室の条件違反も同等とする	(6) 法適合違反	(7) 留意事項違反				
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 該当する </div>	(1) 未完成	有・無	研究室	備蓄倉庫	休憩コーナー	各階便所	建蔽率	バリアフリー
	(2) 指定階数・床面積違反	有・無	ゼミ室	事務室	講師控室	ゴミ置場	2方向避難	省エネルギー
	(3) 階段・EVの位置ずれ	有・無	販売機コーナー	医務室	大講義室	屋外広場	高さ制限	二酸化炭素排出量削減
	(4) その他著しく逸脱しているもの	有・無	エントランスホール	売店	中講義室	屋外憩いの広場	延焼のおそれのある部分	セキュリティ
	(5) 要求室の欠落 ⇒右表参照	有・無	生涯学習コンセプト	カフェ	小講義室		防火区画	ゾーニング、動線計画
	(6) 法適合違反 ⇒右表参照	有・無	図書資料室	更衣室	設備スペース		避難施設	構造(種別、架構、スパン、寸法等)
	(7) 留意事項違反 ⇒右表参照	有・無	共同学習室	ゴミ室	各階倉庫			設備計画(指定違反、PS等)

表3 図面の評価

※各項目ごとに減点数(無記入: 減点無、-1: 若干知識不足、-2: 知識不足、-3著しく知識不足)を求め、合計した結果を70点満点から差し引きとして、図面得点とする。

図面得点	12 減点合計	58 点/70点	研究室	減点	備蓄倉庫	減点	休憩コーナー	減点	各階便所	減点
空間構成	アプローチ	減点	ゼミ室	減点	事務室	減点	講師控室	減点	ゴミ置場	減点
7 減点小計	ゾーニング	減点	販売機コーナー	減点	医務室	減点	大講義室	減点	屋外広場	減点
	動線計画	減点	エントランスホール	減点	売店	減点	中講義室	減点	屋外憩いの広場	減点
	外構計画	減点	生涯学習コンセプト	2 減点	カフェ	減点	小講義室	減点	延焼ライン防火区画	5 減点
	駐車場計画	減点	図書資料室	減点	更衣室	減点	設備スペース	減点		減点
	駐輪場計画	減点	共同学習室	減点	ゴミ室	減点	各階倉庫	減点		減点
	意匠計画	意匠知識全般	減点	主要寸法	減点	面積計算	3 減点	吹抜け計画	減点	
4 減点小計	柱位置	減点	断面位置不整合	減点	EV計画	減点		減点		減点
	ひさし	1 減点	室名記入忘れ	減点	廊下幅1.8m以上	減点		減点		減点
構造計画	構造知識全般	減点	柱(無柱含む)計画	減点	基礎構造	減点		減点		減点
	1 減点小計	スパン割り	梁計画	減点	耐震壁	1 減点		減点		減点
設備計画	設備知識全般	減点	PS計画	減点	EPS計画	減点		減点		減点
	減点小計	設備機械室計画	DS計画	減点	防火設備	減点		減点		減点
印象点	図面表現	減点	スケールアウト	減点	二酸化炭素排出量削減	減点		減点		減点
	減点小計	作図密度	省エネルギー	減点		減点		減点		減点

表4 計画の要点等の評価

※各問題で減点数(無記入: 減点無、-1: 若干知識不足、-2: 知識不足、-3著しく知識不足)を求め、合計した結果を30点満点から差し引きして、計画の要点等の得点とする。

計画の要点等	計画の要点等得点	問題NO.	問題	減点数	問題NO.	問題	減点数
	28 点/30点	(1)	敷地内の駐車場(車回し、車寄せ、アプローチ等)で考慮したこと		減点	(6)	中講義室の照明器具の種類及び配置及び距離等【補足図】
(2)		大講義室の避難計画について考慮したこと		減点	(7)	太陽エネの省エネ及び二酸化炭素排出量抑制のパッシブ技術3つ	2 減点
(3)		生涯学習コンセプトルームで使用目的と効果及び設い提案【補足図】		減点	(8)	屋根勾配について環境負荷低減のために考慮したこと【補足図】	減点
(4)		勾配屋根の架構形式で、その特徴及び特に考慮したこと【補足図】		減点			減点
(5)		敷地形状に配慮した基礎計画について考慮したこと		減点			

要求図面では表せない事項について、次の(1)～(8)の要点等を具体的に記述する。なお、(3)(4)(6)(8)については、【補足図記入欄】にフリーハンド等により補足図を記入する。

(1) 敷地内の駐車場(車回し、車寄せ、アプローチ等)について考慮したこと

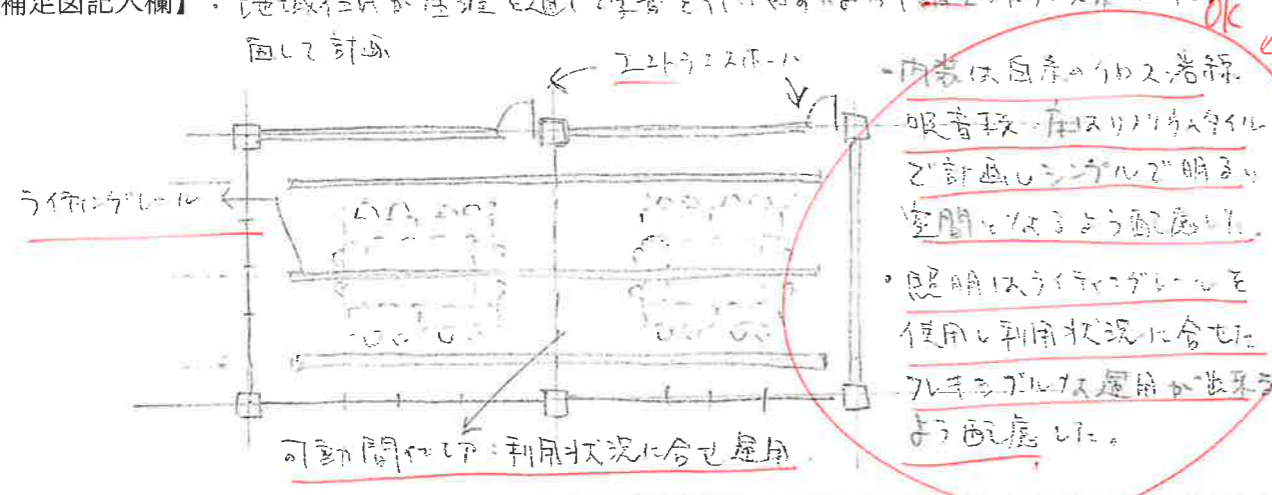
車回し、車寄せは敷地の北側の平庭部に配置し、前向き道路を介することなく敷地内道路にアプローチ出来るようにし、斜交な動線計画となるよう計画した。 OK

(2) 大講義室の避難計画について考慮したこと

大講義室には地下1階ホール及び管理ゾーン廊下との出入口を2カ所設け、東西に分散して配置した避難階段へのアクセスが容易なようにはいることへの安全な避難経路を確保した。 OK

(3) 生涯学習コンセプトルームについて、設計条件や特記事項を踏まえ、「使用目的とその効果」及び「設い(内装、什器、設備機器等)」について提案すること
なお、【補足図記入欄】にその考え方をイラストやシステム図等により補足する

【補足図記入欄】・地域住民が生涯を通じて学習を行えるよう「階エントランスホール」に面して計画



内装は白系かつスチール調
吸音板・床スリットパネルで計画し「シングル」明るく空間となるよう配慮した。
照明はライティングレールを使用し利用状況に合わせたフレキシブルな運用が出来るよう配慮した。

可動間仕切り・利用状況に合せ運用

これを図面(階平面)に書き下す!!

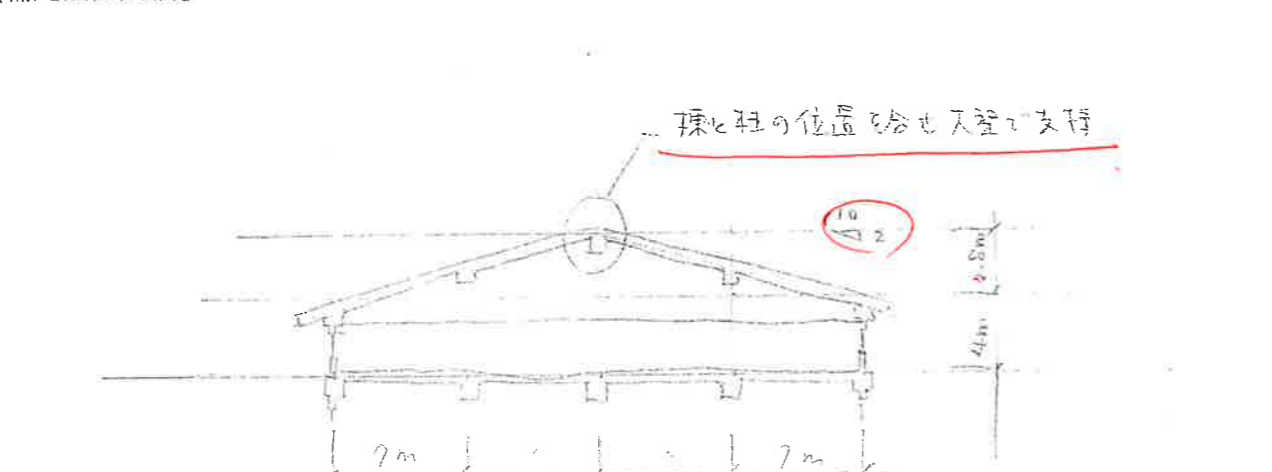
OK

(4) 勾配屋根の架構形式について、その特徴及び特に考慮したこと

なお、【補足図記入欄】にその考え方をイラストやシステム図等により補足する。

屋根スラッグは鉄骨コンクリートとし、躯体と一体的な架構形式とした。
棟は柱の位置に合わせて大梁で支え、屋折梁を避ける計画として架構の安定性に配慮した。 OK

【補足図記入欄】



棟柱の位置に合わせて大梁で支え

7m 7m 4m

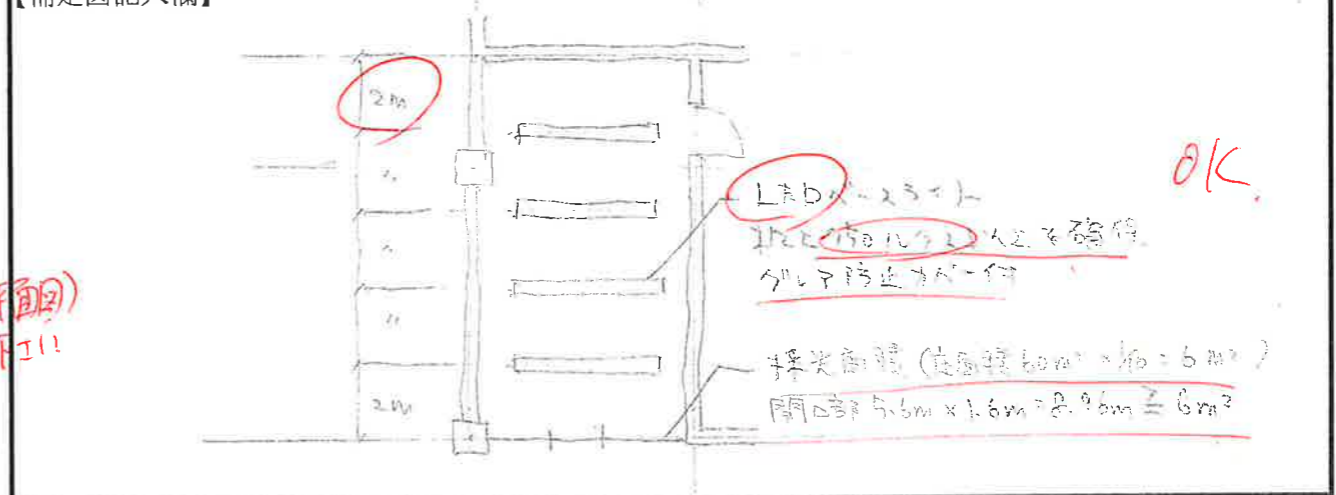
OK

(5) 敷地形状に配慮した基礎計画について考慮したこと

基礎は建物の一部を地下に計画するため各柱ごとの支荷が行える独立基礎を計画した。支荷地盤は1N値が約1kg/cm²の砂礫層とし、GL-6mまでの砂層には根柢改良を行う計画とした。 OK

(6) 中会議室の照明器具の平面における計画について、照明器具の種類及び照明器具の配置及び照明器具間の距離等を【補足図記入欄】にイラストやシステム図等により説明する

【補足図記入欄】



LABO-23-1
北側のバルコニーへも確保
ガラス防止ガラス付
採光面積(長辺6m×短辺3m=6m²)
開口部5.6m×1.6m=8.96m²≧6m²

OK

(7) 太陽エネルギーを有効利用する省エネルギー及び二酸化炭素排出量抑制に関するパッシブ技術をこの2つはアクティブ技術です。
具体的に3つを記述する

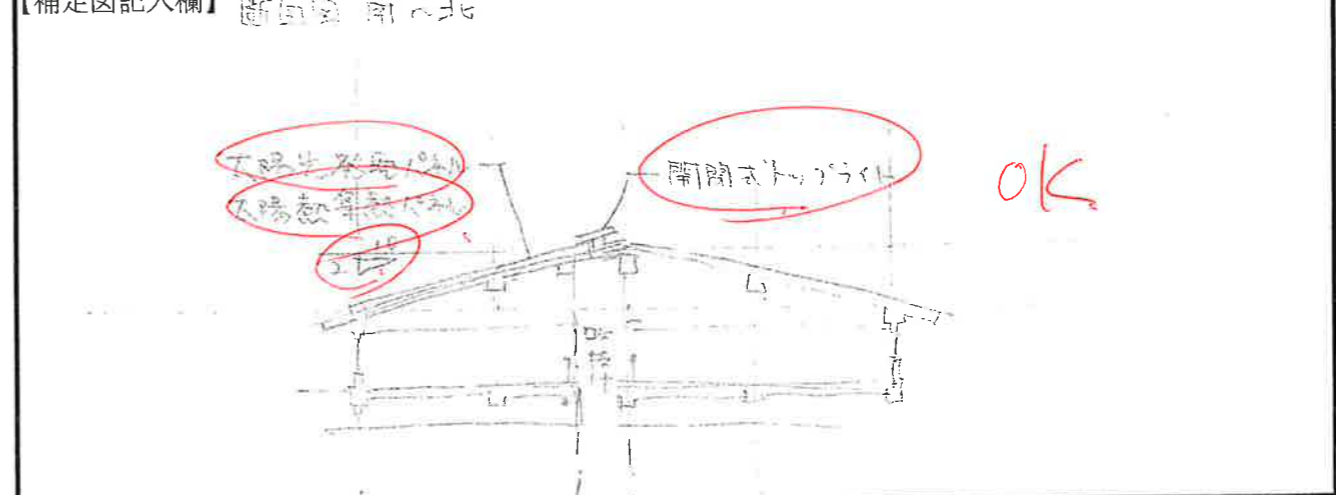
- ① 太陽光発電を利用し、消費電力の削減と二酸化炭素排出量を削減した。
 - ② 太陽光集熱パネルを利用した熱源の確保により、消費電力を削減した。
 - ③ Low-Eガラスを採用し、冬期の暖房負荷の削減を図った。
- 7.5
7.5

(8) 屋根勾配について環境負荷低減のために考慮したこと

なお、【補足図記入欄】にその考え方をイラストやシステム図等により補足する。

屋根勾配を利用して太陽光発電パネルと太陽光集熱パネルを設置し、余剰エネルギーに配慮した。閉閉ボックライトを設置し、自然採光・自然通風を取り入れ、中間期の空調負荷を抑制した。

【補足図記入欄】 断面図 南西北



太陽光発電パネル
太陽光集熱パネル
閉閉ボックライト

OK